



日本安全性薬理研究会

Japanese Safety Pharmacology Society

日本安全性薬理研究会会員の皆様

日本安全性薬理研究会 第10回情報・技術交流会 「第1回中枢神経系の評価」のご案内（第三報）

日本安全性薬理研究会第8回学術年会にてご案内いたしました第10回情報・技術交流会「第1回中枢神経系の評価」の参加者募集についてご案内いたします。

1) 目的

安全性薬理研究の動物実験における行動・症状観察評価の技術レベルの向上

2) 日時・場所

1日目： 2017年6月16日（金）13：00～17：15

ホテル ラフォーレ那須 会議室 <http://www.laforet.co.jp/nasu/>

2日目： 2017年6月17日（土）09：30～16：00

国際医療福祉大学 大田原キャンパス <http://www.iuhw.ac.jp/access/>

参加者はホテル ラフォーレ那須に宿泊となります。

1日目（那須塩原駅からホテル）及び2日目（ホテルから大学、大学から那須塩原駅）の交通手段につきましては、日本安全性薬理研究会より大型バスを用意して移動いたします（詳細は後日）。

3) 実施内容

下記内容を予定しています。

1日目（座学）

講演

「安全性薬理試験における中枢神経系試験の重要性（仮題）」：安東賢太郎（東邦大学）

「CROにおける中枢神経系評価（仮題）」：藤原淳（イナリサーチ）

「非臨床中枢神経系評価結果からの臨床副作用予測（仮題）」：塩谷元宏（エーザイ）

討論会

「各企業における中枢神経系評価の現状、悩み、疑問点、方向性」

参加者には、事前に中枢神経系評価の現状、悩みなどをまとめていただき、当日発表していただきます。



日本安全性薬理研究会

Japanese Safety Pharmacology Society

2日目（動物を用いた実地研修）

症状観察（ラット）

薬物投与された動物の観察，評価の目合わせ

情動行動を主体に機器を使用した評価（マウス）

自発運動活性測定試験、オープンフィールド試験・ホールボード試験、強制水泳試験、尾懸垂試験、高架式十字迷路試験、明暗試験、恐怖条件付け試験

4) 費用

参加費 10,000 円程度、宿泊費 10,000 円程度を予定

その他費用（交通費、食事代）は各自負担

なお、6月9日（開催日前1週間）以降のキャンセルは全額負担となります。

5) 対象者

日本安全性薬理研究会会員の方で、実際に現場で手を動かしている方（各社 **2名まで（各社1名から変更しました）**）／定員 50 名）

なお、非会員の方は当日年会費 1,000 円をお支払いいただき会員登録していただきます。

6) 申込方法

研究会 HP 申込フォーム（以下 URL）より必要事項を入力いただきお申込みください。

<https://www.primetech.co.jp/tabid/177/language/ja-JP/Default.aspx>

7) 申込期間

2017年4月13日～~~4月27日~~ **5月9日（申込期間を延期しました）**

期間内におきましても定員（50名）になりますと、上記申込フォームからの入力ならびに申込が不可能となりますのでご注意ください。

担当幹事：出口 芳樹、安東 賢太郎、藤原 淳、塩谷 元宏

（問合せ先：kouryukai “アットマーク” j-sps.org “アットマーク” は@を小文字で入力下さい）

アドバイザー：千葉 克芳、林 誠治、安藤 博之、吉永 貴志

協力者：武田 弘志 学部長／教授、辻 稔 教授（国際医療福祉大学 薬学部）